

手芸倶楽部新聞

2014年
10月24日号
第19号



伊藤機能訓練指導員より

十一月八日に当施設で地域交流セミナーを開催しました。参加した地域の方々、手芸クラブの作品を見て頂きました。皆さん、作品の出来栄えに感心していました。

次回は、四階・五階とシヨートステイの利用者様対象で、十一月十三日(木)地域交流室にて十五時より開催予定です。お楽しみに。見学者大歓迎です！

手芸のコツ

何かを作る時、一番大事な事は、モチベーションです。誰かに見せたい！誰かにプレゼントしたい！自分で使いたい！目的が無く作り始めても、飽きてしまいます。ある利用者さんは、面会の方が連れて来られた一歳の女の子に会って、その子にプレゼントしたいと、思い小さなエプロンを縫うことにしました。

職員が、お好みの布を買って来て、そしてデザイン画を描き、モデルの女の子の夏服を借りて、型紙を作りました。現在せっせと製作中。やる気スイッチ入っています！

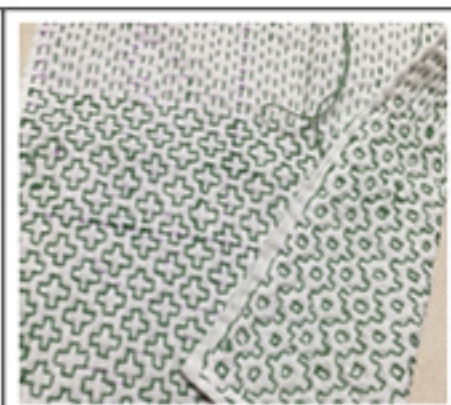
新メニュー紹介

皆さんが何を作りたいと思っているか。を想像し、用意する時はいろいろと考えます。

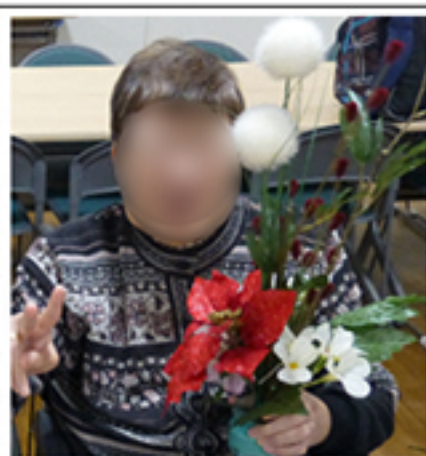
職員の思い込みで押し付けることもできませんので、いつも新しいメニューを始める時は、まず見本を職員が作ってお見せして、好評だったものを作っていると思います。

最近では、刺し子も皆さん上達されて、麻の葉文様や千鳥刺ぎなど、代表的な刺し子模様を軽々と刺してしまわれるので、職員もさらなる模様を探し、試し縫いが追いつかないこともあります。

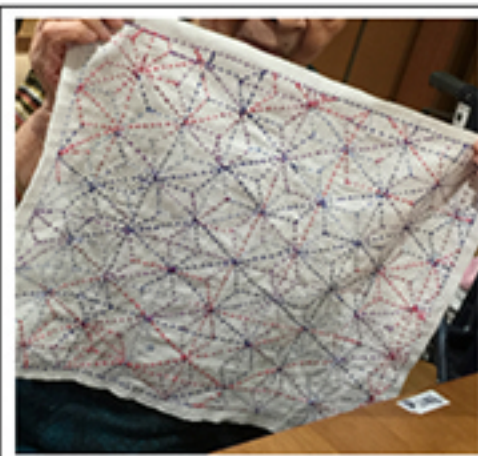
今、試作しているのは、花十字という模様。裏と表に違う模様が浮き出る不思議な柄が得意な方が多いです。細かく縫う為、布巾としての実用性は高いけど、作るのとはとても大変。これにチャレンジされる方、いるかな？お待ちしております！



第十九回の手芸倶楽部は、一足早くポインセチアをご用意しました。生花でも、とても長持ちするお花なので、今頃の時期から盛んにお花屋さんでみかけます。クリスマスまで長く楽しんで頂けると幸いです。



裁縫組は刺し子が再ブーム！麻の葉模様の布巾を仕上げてくださいました。



今度はどんな文様にチャレンジしようか、職員もうれしい悩みが増えました。楽しみです！



編集後記：ハロウィンが終われば、もうすぐクリスマス。クリスマスツリーを飾っているユニットもちらほら。手芸倶楽部でも、クリスマスらしいことをしたいなと思いつつも、なかなか楽しそうな題材を思いつけないでいます。もうこうなったら、来年の干支、羊に関する手芸をしちゃおうかしら？いくらなんでも早すぎるかな？右の写真はなんでも素早く縫って作ってしまう、ご利用者様。私の縫い物の先生です。

